

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東小学校前通学路道路拡幅整備事業			会計	款	項目	大率	小率
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・児童	意図	歩道整備による安心、安全な歩行空間を確保する。
事業内容	国道6号線交差点から東部中学校入口交差点までの約520m区間について、自転車・歩行者の安全確保を目的に道路整備を行い、通学路における安全対策を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度は現況測量及び道路設計を実施し、平成26年度は道路拡幅整備計画について地元説明会を実施し、関係機関との協議を実施した。平成27年度については、不動産鑑定及び物件調査を実施し、1名の地権者と契約を締結した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		整備率	.70	2	10.90	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						全体地権者17名に対し14名の地権者と交渉を行い、8名の地権者については、概ね事業への理解は得られている。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,056,200	11,371,200	52,510,280			
事業費(b)(円)		3,864,000	7,225,200	46,486,280			
うち一般財源		3,864,000	7,225,200	9,681,880			
職員給与費(c)(円)		4,192,200	4,146,000	6,024,000			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.80			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた	
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である	
総合評価		拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					
		コストの削減					A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	道路拡幅事業の必要性を関係地権者に発信するとともに、用地買収に向けた不動産鑑定及び物件調査を実施し用地交渉を実施する。	取組の課題	道路拡幅事業の必要性を関係地権者に発信するとともに、用地買収の合意に向けた用地交渉が必要になる。
今年度(H27)に実施した取組	不動産鑑定及び物件調査を実施し、用地交渉を行い、1名の地権者と契約を締結した。	今後の改善計画	用地買収に向けた交渉を実施し、事業の進捗を図る。